

～サービスの質の向上をめざして～ 第1回神奈川県特定施設研究大会

去る2月20日(水)に「第1回神奈川県特定施設研究大会」を開催いたしました。
当日は、介護関係事業所にお勤めの590名の方からのご参加を得て、大いに盛り上がりました。

日時：平成20年2月20日(水) 10:20 ~ 16:30
場所：横浜関内ホール・大ホール

基調講演

「サービスを超える瞬間」

- 感動するサービスとは -

ザ・リッツ・カールトン・ホテル日本支社長 高野 登氏

ザ・リッツ・カールトン・ホテルの歴史DNAを背景にホテル現場での職員がいつまでもワクワクドキドキできるようなサービスに対する考え方、人材育成の方法、心の作用を大切さ、サービスの中にある可能領域での「声にされないニーズ」等についてご紹介いただきました。社会に対する価値を作っていく中で生まれたホスピタリティーは、「目からうろこ」となるものでした。



研究発表

座長

神奈川県立保健福祉大学大学院教授 谷口 政隆氏

(発表演題)

1. 満足していただけるお風呂を目指して
株式会社サンライズ・ヴィラ
介護付有料老人ホームフェリエドゥ稲田堤 本間和之氏
2. 特定施設に於けるケアマネジメントの特徴と課題
- H18年度介護支援専門員協会の実態調査から -
NPO 法人神奈川県介護支援専門員協会
調査研究委員会 施設部会 篠原柳子氏
3. 経口摂取回復への支援
本人の意欲をチームで支えられた事例 -
財団法人シニアライフ振興財団
トレクオーレ横浜 若葉台 三原佐智子氏
4. 笑顔の私
日総ニフティ株式会社
すいとぴー三ツ境 平井貴美子氏
5. いつまでも美味しく召し上がって頂く為に
～飲み物のとりみ加減～
財団法人日本老人福祉財団
湯河原 ゆうゆうの里 田戸祥世氏
6. ～食事提供の確立～
(美味しい食事の提供を目指して)
株式会社ヘルスケアシステムズ
介護付有料老人ホームライフケアガーデン湘南 折原格氏



研究発表では、それぞれ、現場での積極的な取り組みや研究等について発表され、審査の結果、三番目に発表された「財団法人シニアライフ振興財団 トレクオーレ横浜 若葉台 三原佐智子」さんが優秀賞を受賞しました。

また、急遽、発表者が全員登壇し、シンポジウム形式の意見交換が行われ、施設内でのチームケアの方法や今後の課題等について、客席とともに情報交換できる有意義なものとなりました。

座長からも、「特定施設におけるケアマネジメントの展開」への問題提起とともに、力強い応援のお言葉をいただきました。

記念講演

「生きること、演じることの素晴らしさ！」

俳優 宝田 明氏

ご自身の生き立ちやご活躍をお話しながら、介護の現場で働かれている皆様へ「介護の現場で最高の自分を演じなさい」というメッセージをいただきました。

また、最後には、会場一体となって名曲を大合唱するなど、宝田明氏からとても元気の出るエールをいただきました。



特別講演

「介護保険制度の動向と展望」

～特定施設を中心として～

厚生労働省老健局振興課 谷山 拓也氏

特定施設をとりまく制度の改正、主にコムスンの問題の経緯等や、介護労働力問題についての説明をいただき、法令遵守の徹底、基本的な知識を職員全員に周知することの必要性を訴えられ、特定施設の信頼性や質の向上のためにも、今後は応援団が必要となることのお話をいただきました。



閉会

特定施設経営研究会 会長

株式会社サンライズヴィラ

代表取締役常務 鈴木 紀雄氏

特定施設の存在感をアピールし、サービスの質を向上するためには、特定施設同士の連携や協力が必要で、お互いが自分達を高めるためのライバルとなる関係作りをするためにも、今日来場された皆様が今後の研究大会にも参加されることを呼びかけ、閉会となりました。



「神奈川県特定施設研究大会」は、今後も第2回、3回と続けていく予定です。安心して自分らしい生活が送れ、よりよい高齢社会を迎えられる取り組みの一つとして、特定施設がお互いに連携・協力し、サービスの質の向上への取り組みを推進できる有意義な研究大会にするために、今後も、皆様からのご協力・応援をよろしくお願いいたします。

どうもありがとうございました。